

令和2年度大阪府立泉大津高等学校学校運営協議会（第3回） 議事録

日 時：令和3年2月19日（金）14:00～15:30

場 所：大阪府立泉大津高等学校 会議室

出席者：湯峯委員、浦西委員、植野委員、増穂委員

山田校長、下澤事務長、林首席、森岡首席、中村教頭

議題

- ① 令和2年度学校経営計画の達成状況について
- ② 令和3年度学校経営計画について

質疑応答・意見交換

Q. 休校時の学力保障や授業づくりについて、詳しくお話しください。（副会長）

A. 6月まではほとんど何もできなかった。7月以降はほぼ通常通りの授業ができています。感染対策は必要であるが、ほぼ通常通りに戻っている。

通常の授業を行う中でオンラインコンテンツを授業の補助教材として作成し、試行を兼ねて生徒たちに提供しているが、すべての生徒が閲覧するには至っていない。

Q. 授業に対する満足度が他校では下がっているところが多いのに泉大津高校では去年よりも上回っている。何が原因か。（会長）

A. 経験年数の少ない教員が増え生徒に寄り添いながらICTの活用や対話的な授業やグループ活動を取り入れた授業をする先生が増えたのが要因ではないか。

Q. 修学旅行も実施されたということだが感染を不安に思う生徒はいなかったのか。

（会長）

A. 感染が不安で参加しない生徒は若干名いたが、結果的には感染対策をしっかりと行なったことで発熱などの体調不良者が一人も出ない修学旅行となった。

実施することに対して不安はあったが、保護者の方からほとんど反対意見がなく、ご支援を頂戴したことが非常に心強かった。

Q. 部活動はかなりコロナの影響を受けたと思うが。(会長)

A. 3年生は特に最後の試合が全て中止となったクラブもあり悲しい思いをした。公式戦が実施されたクラブもあったが、クラブ(競技)によって差があった。感染リスクの高い競技は出来なかったところが多い。

Q. 時間割に組み込んで教育相談関係の会議を週一回されたそうだが、それだけ件数が多かったということか。また、SC はどれくらいの頻度で来校されたのか。(会長)

A. SC は二名お願いし、隔週で来校いただいた。きめ細かく支援できる体制が整ったので件数的にも多かったが、早期の対応が可能となった。

Q. 就職にコロナの影響はなかったか。(副会長)

A. 就職については一次の決定率が例年よりも低かった。府内的にも一次合格率が 20%弱下がっている学校が多かった。コロナの影響であると思われる。  
進学は学校説明会に行けないことで進路指導が難しかった。